

環境分科委員会の開催概要

7月14日(木)に開催した、北東アジア地域自治体連合・第7回環境分科委員会の開催結果は、次のとおりです。

なお、今回の会議では、当委員会の事務局の改選が行われ、富山県が引き続き選出されました。

1 開催概要

(1) 開催日時 平成17年7月14日(木)9:30~16:30

(2) 場 所 オークスカナルパークホテル富山(富山市牛島町11-1)

(3) 参加自治体(5か国14自治体)

日 本(4):新潟県、富山県、石川県、兵庫県

中 国(3):遼寧省、黒龍江省、山東省

モンゴル(1):セレンゲ県

韓 国(3):江原道、忠清南道、慶尚北道

ロシヤ(3):沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

来賓として、環境省地球環境局環境協力室(渡邊室長補佐)が出席

2 会議内容

(1) 報告事項

ア 各自治体における環境の現状と課題の報告

7自治体(セレンゲ県、ハバロフスク地方、サハリン州、兵庫県、黒龍江省、山東省、慶尚北道)から、環境の現状と課題について報告があり、北東アジア地域の環境の現状等について、参加自治体が相互に理解を深め、共通の認識を得た。

なお、各自治体の報告項目については、以下のとおり。

- ・ セレンゲ県(森林の喪失による自然環境の変化及びその対策)
- ・ ハバロフスク地方(アムール川の水質汚濁対策、都市部の大気汚染対策、コウノトリの保護、自然保護区域の管理)
- ・ サハリン州(水質汚濁対策、有害廃棄物の適正処理、天然資源・自然保護区域の管理)
- ・ 兵庫県(環境創生5%システム、ディーゼル自動車の運行規制)
- ・ 黒龍江省(松花江流域等の水質汚濁の現状と対策)
- ・ 山東省(大気汚染の現状、モニタリングシステムの運用、大気汚染対策)
- ・ 慶尚北道(休廃止鉱山からの付近住民への重金属汚染の調査)

イ 2005年個別プロジェクトの実施状況

各自治体から、以下の5つのプロジェクトの実施状況について報告された。

- ・ 日本海沿岸の油汚染の現状評価(沿海地方)
 - 日本海の沿岸地域の土壌の油汚染に関する調査。参加自治体数が少ないため、実施中止。
- ・ 北東アジア地域環境保護国際ユースシンポジウム(沿海地方)
 - 北東アジア地域の環境保護及び天然資源の合理的な利用に関するシンポジウム。

2005年9月にロシア・ウラジオストク市で開催予定。

- ・ 日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県）
 - 日本海及び黄海沿岸の漂着物の実態調査及び沿岸住民等への普及啓発を目的とする調査。2005年も引き続き実施予定。
- ・ 北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査（富山県）
 - 極東地域における渡り鳥に関する共同調査。2005年も引き続き実施予定。
- ・ 北東アジア青少年環境シンポジウム 2005（遼寧省、富山県）
 - 北東アジア地域の青少年（中学生）の参加による環境シンポジウム。2005年8月に中国遼寧省において、「循環型社会の構築」をテーマに開催予定

（2）協議事項

ア 次期事務局自治体（コーディネート自治体）の選出

コーディネート自治体として、富山県が選出された。（任期2年）

1999年7月以降4期連続

イ 2006年個別プロジェクトの提案状況

ロシア沿海地方及び富山県が、2006年個別プロジェクトとして、以下の4つを提案した。

（新規プロジェクト）

- ・ 日本海における海底地形及び底生生物群集の生物多様性と分布の調査（沿海地方）
 - 海洋生物多様性の保全対策等に資するための日本海の海底地形及び多様性調査のための底生生物群集の分布等に関する調査について

（継続プロジェクト）

- ・ 日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県）
- ・ 北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査（富山県）
- ・ 北東アジア青少年環境シンポジウム（富山県）

ウ 環境分科委員会の活動計画

環境分科委員会の今後の活動計画について確認がなされた。

北東アジア地域自治体連合環境分科委員会について

平成10年（1998年）10月の「北東アジア地域自治体会議'98」において設置が決定された5分野の分科委員会（経済・通商、文化交流、環境、防災、一般交流）の一つであり、環境に関する個別プロジェクトの円滑な実施を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方策等について、検討、協議等を行うことをその目的としている。なお、平成11年（1999年）7月の第1回環境分科委員会において、本委員会の中心となり連絡、調整、運営を行うコーディネート自治体（事務局）として富山県が選出された。

